



分析フェーズの **IMT** のベストプラクティス ONTAP FLI

NetApp
January 07, 2026

目次

分析フェーズの IMT のベストプラクティス	1
分析フェーズの IMT のベストプラクティス	1
IMT のベストプラクティス	1
FLI の相互運用性とサポート条件	1
IMT を使用した FLI でサポートされている構成の確認	2
SAN LUN Migrate App を使用した FLI でサポートされる構成の確認	2
サポートされていない LUN の有効化	3
サポートされていない LUN の有効化	3
FC 以外の LUN をインポートする	3
Foreign LUN Import を使用した AFF への LUN のインポート	4
ギャップ分析レポート	4

分析フェーズの IMT のベストプラクティス

分析フェーズの IMT のベストプラクティス

分析フェーズでは、移行作業に進む前に対処する必要がある項目について調べます。ホストの構成情報を、NetApp Interoperability Matrix (IMT) に記載されているサポート対象の構成と比較する必要があります。

IMT は Web ベースのユーティリティで、ネットアップが認定した他社の製品やコンポーネントと連携するネットアップ製品の構成に関する情報を検索できます。IMT には、ネットアップのサポート対象構成と認定構成の両方が含まれています。サポート対象構成とはネットアップが動作確認を行った構成で、認定構成とは、ネットアップのコンポーネントと連携することをサードパーティが確認した構成のことです。

IMT のベストプラクティス

- 計画ワークシートの「Switches and Hosts」セクションに、必要なソフトウェアとアップグレードに関する NetApp IMT の推奨事項を入力します。
- 最初に、ONTAP OS、プロトコル、CF モードなどの静的な情報を IMT に入力します。次に、Site Survey をフィルタガイドとして使用して、ホスト OS、ボリュームマネージャ、HBA の情報を入力します。
- 具体的な情報を入力しすぎると結果が返されません。複数の結果が返されるようにして、その中から最適なものを選択することを推奨します。
- ホスト HBA は、OEM パーツ番号で報告されることがあり、IMT に入力する前に相互参照する必要があります。
- 各ホストについて、IMT でサポートされるかどうかを確認します。
- 関連情報 *

"ネットアップの相互運用性"

FLI の相互運用性とサポート条件

FLI 相互運用性マトリックス (IMT) は、FLI で動作する NetApp 認定ソース アレイをより適切にサポートするように設計された、明確に異なる相互運用性ツールです。

Foreign LUN Import を実行する前に、相互運用性について次の 2 つを確認する必要があります。

- FLI がサポートされていることを確認します。これについては、FLI の IMT で確認できます。
- インポート完了後のエンドツーエンドの完全な構成がサポートされている構成であることを確認します。これは FAS / AFF IMT で実現されています。

さらに、ターゲットの ONTAP バージョンについて、次の 3 つの条件を確認します。

- ソースストレージのプラットフォームのモデルとマイクロコードバージョン。
- SAN スイッチのモデルとマイクロコードバージョン。
- ネットアップコントローラ、お客様の環境 (スイッチ、HBA、ファームウェア、サーバハードウェア)

ど)、および移行後に LUN をマウントする SAN 接続クライアント。

これらの 3 つのコンポーネントのいずれかがサポートされていない場合は、移行プロセスの実行中と実行後に正常に動作してサポートされるようにするために、一部修正が必要になることがあります。

- 関連情報 *

"ネットアップの相互運用性"

IMT を使用した FLI でサポートされている構成の確認

ネットアップが認定した他社の製品やコンポーネントと連携するネットアップ製品の構成については、Interoperability Matrix Tool (IMT) を使用してください。



ONTAP 9.9.1 以降では、アレイが IMT でサポート対象として表示されない場合は、ネットアップサポートサイトの SAN LUN 移行アプリケーションを使用して、アレイがサポートされるかどうかを確認できます。

手順

1. Interoperability Matrix Tool にアクセスします。
2. アレイモデルを検索します。
3. 解決策 * Foreign LUN Import (FLI) Back-End Interoperability * を選択します。
4. サポートされている構成を確認するには、* FAS モデル * と * ONTAP バージョン * を選択します。
5. フロントエンドでサポートされるホスト構成の場合は、[* build end to end view with ONTAP SAN host*] をクリックします。
6. スイッチがサポート ONTAP する構成の場合は、[*SAN ホスト*] タブで [SAN スイッチ*] のビルド終了から終了までの表示] をクリックします。

- 関連情報 *

"ネットアップの相互運用性"

SAN LUN Migrate App を使用した FLI でサポートされる構成の確認

ONTAP 9.9.1 以降では、SAN LUN 移行アプリケーションを使用して、外部ソースアレイを FLI の対象として指定できます。目的の外部アレイが FLI IMT にリストされていない場合は、SAN LUN 移行アプリケーションを使用できます。

手順

1. ネットアップサポートサイトにアクセスします。
2. [カテゴリによるフィルタ] で、[* 移行] を選択します。
3. [* SAN LUN Migration * (SAN LUN の移行)] で、[* Download App *] をクリックします。
4. ソースアレイへのブロックアクセスがある FC または iSCSI Linux ホストからアプリケーションを実行します。

外部ソースアレイが認定されている場合は、緑色のチェックマークが表示されます。外部ソースアレイが認定されない場合は、赤い X が表示されます。

サポートされていない LUN の有効化

サポートされていない LUN の有効化

ソースアレイのホスト OS、HBA、スイッチ、および ONTAP アレイと最終的な構成がすべてサポートされていることを Interoperability Matrix で確認することが重要です。

ここでは、これらのユースケースについて説明します。

- iSCSI LUN を FC LUN としてインポートする
- 移行した LUN を AFF プラットフォームに移動しています
- 関連情報 *

["NetApp Interoperability Matrix Tool で確認できます"](#)

FC 以外の LUN をインポートする

FLI では FC LUN のみがサポートされます。ただし、iSCSI LUN をインポートできる回避策があります。他の FLI オンライン 7-Mode から ONTAP へのワークフローとは異なり、iSCSI LUN を FC LUN としてインポートするため、中断ウィンドウはこのワークフロー全体に及びます。

iSCSI LUN を FC LUN としてインポートするため、他の FLI オンラインの 7-Mode から ONTAP へのワークフローとは異なり、このワークフロー全体で中断時間が発生します。

手順

1. ソースアレイで、目的の iSCSI LUN の iSCSI igroup へのマッピングを解除する必要があります。
2. ソースアレイで、LUN を FC igroup にマッピングし、デスティネーションアレイの WWPN が igroup に追加されていることを確認します。
3. LUN をインポートします。
4. LUN のインポートが完了したら、新しい iSCSI igroup を作成してホストを追加します。
5. ホストで、LUN を再スキャンします。

本ドキュメントに記載されている製品や機能のバージョンがお客様の環境でサポートされるかどうかについては、ネットアップサポートサイトで Interoperability Matrix Tool (IMT) を参照してください。NetApp IMT には、ネットアップがサポートする構成を構築するために使用できる製品コンポーネントやバージョンが定義されています。サポートの可否は、お客様の実際のインストール環境が公表されている仕様に従っているかどうかによって異なります。

- 関連情報 *

["NetApp Interoperability Matrix Tool で確認できます"](#)

Foreign LUN Import を使用した AFF への LUN のインポート

ONTAP 9.1 以降、AFF は FLI をサポートします。FLI を使用すると、他のアレイから LUN を ONTAP クラスタに直接インポートできます。

ONTAP 8.3.2 以降、AFF は承認されたプロセス差異要求 (PVR) を使用して FLI をサポートできます。PVR を承認のために提出するには、NetApp アカウント チームにお問い合わせください。承認されると、提出者 (通常は NetApp システム エンジニア) は、FLI 機能を有効にするための手順が記載された承認レターを受け取ります。

8.3.2 より前のバージョンの ONTAP ソフトウェアでは、AFF と同じクラスタ上の非 AFF HA ペアに FLI インポートをステージングする必要があります。移行が完了したら、ボリュームまたは LUN 移動などの非中断操作 (NDO) を使用して、移行された LUN を AFF に移動できます。AFF クラスタに非 AFF ノードがない場合、これを容易にするためにスイング ギアを借りる可能性についてアカウント チームに相談してください。

ギャップ分析レポート

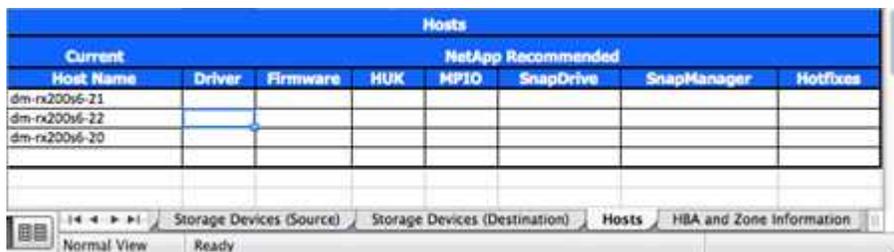
ギャップ分析は、お客様の現在の環境と ネットアップ が推奨する環境に関するレポートです。移行後に実行する必要がある、お客様の環境で推奨されるすべてのアップグレードが提示されます。

ターゲット構成 (移行後) には、各ホストの詳細 (OS 構成、MPIO、HBA の詳細、Host Utility Kit のバージョンなど) が含まれます。SnapDrive や SnapManager など、ネットアップのその他の必要な製品に関する情報も入手できます。

通常、必要な変更は、実際の移行イベントを開始するまでは行われません。これは、通常、メンテナンス時間のスケジュールを設定する必要があるためです。一般に、移行前に MPIO 構成に加えた変更は、現在のストレージのサポートにも影響します。

ギャップ分析レポートは、Site Survey and Planning ワークシートの Hosts セクションにある、ネットアップが推奨する完成したセクションになります。ギャップ分析は、移行プロジェクトに含まれるすべてのホストについて実行する必要があります。完成したギャップ分析レポートは、お客様と一緒に確認する必要があります。

ギャップ分析レポートの例を次に示します。



Hosts							
Current				NetApp Recommended			
Host Name	Driver	Firmware	HUK	MPIO	SnapDrive	SnapManager	Hotfixes
dm-rx200s6-21							
dm-rx200s6-22							
dm-rx200s6-20							

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。